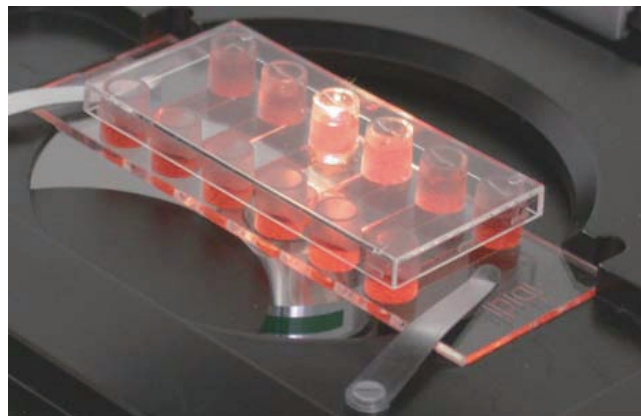


μ-Slide VI からトリプシン処理し、細胞をはがす方法

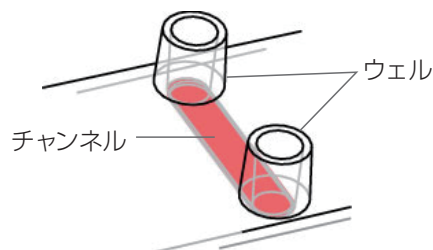
このアプリケーションノートでは、接着細胞を培養後に μ-Slide VI から剥離する方法について示します (1~9)。

- 最初に、必要な細胞濃度になるまで細胞を増殖させます。



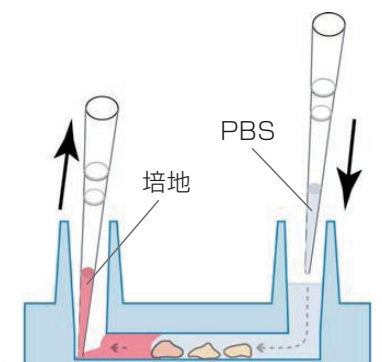
細胞と培地が充填された μ-Slide VI

- μ-Slide VI のウェルから培地を取り除きます。
チャンネル内に含まれるすべての液体を吸引しないでください。



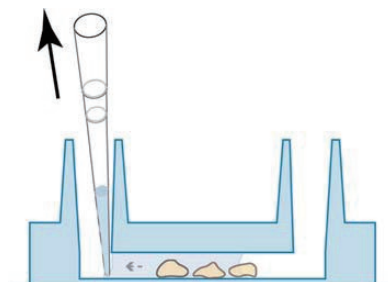
ウェルが空になった μ-Slide VI の1チャンネル

- その後、PBS (1チャンネルあたり200 μl) で洗浄し、右の図のように反対側から吸引します。
細胞培養用アスピレーターとピペットの同時使用が推奨されます。
下の図のように、アスピレーターとピペットのチップを使用します。



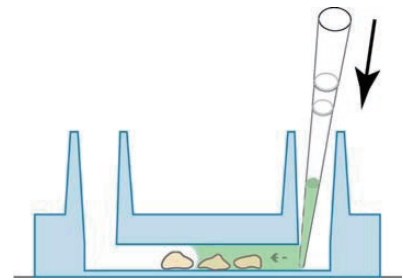
μ-Slide VI の1チャンネルの断面図

- 細胞培養用アスピレーターを使用して、チャンネルからPBSをすべて除去します。



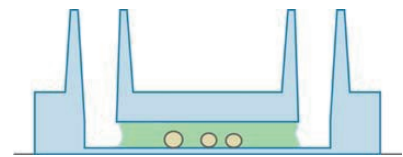
このステップでは、PBSをウェルおよびチャンネルから完全に除去します。

5. 直ちにチャンネルを細胞剥離溶液（例、トリプシン/ EDTA）30μlで再び満たします。
右の図のように、ピペットチップをチャンネルインレットの真上に配置します。



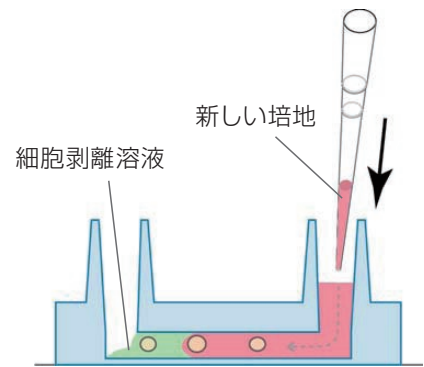
細胞剥離溶液30μlを空のチャンネルに充填します。

6. 細胞をインキュベーターに入れます。
増殖面積の縦横比と容積が異なるため、細胞剥離プロセスには通常（～2～3分）よりも長い時間を要することがあります。
位相差顕微鏡を使用して細胞の剥離を確認します。
細胞の剥離が起こらない場合には、細胞剥離溶液の濃度を高くするか、インキュベート時間を長くしてください。



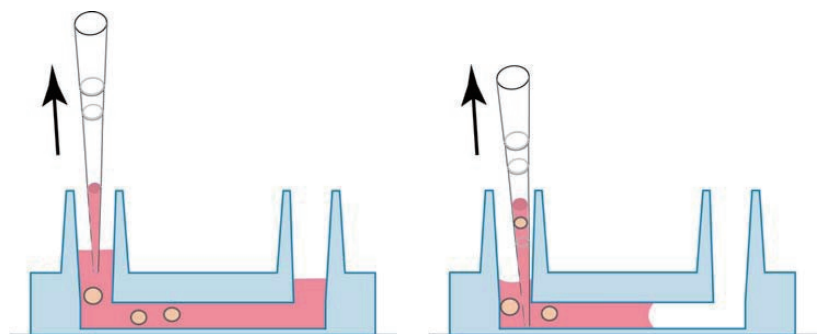
細胞は数分後に剥離します。

7. 細胞が丸みをおびて剥離した後で、各チャンネルを培地100μlで洗い流します。



剥離した細胞を新しい培地100μlでチャンネル外に洗い流します。

8. チャンネルの反対側から細胞懸濁液を回収します。
一部の細胞が残る場合には、洗い流しのステップを繰り返します。



懸濁した細胞は、ウェルおよびチャンネルから溶液を吸引することによって回収可能です。

9. 剥離した細胞を回収して、細胞剥離溶液を除去/希釈します。必要に応じて細胞をさらに処理します。